

災害時に役立つ

あんしん・防災ねっと

市では、昨今の災害を教訓とし、避難勧告などの災害に関する情報を迅速に市民の皆さんにお伝えするため「あんしん・防災ねっと」の運用を行っています。

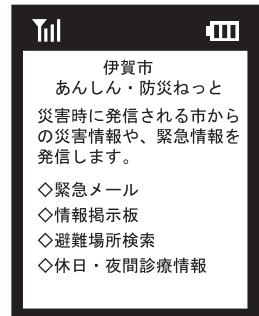
市民の皆さんがお持ちの携帯電話のインターネット接続機能（Iモード、EZウェブ、Yahoo!ケータイなどの契約が必要）を利用して災害時における緊急情報などを閲覧できます。また、『災害時緊急メール』に携帯電話のメールアドレスを登録することによって、登録された方の携帯電話へメールにより、市から緊急情報をお知らせします。

閲覧・登録の方法

携帯電話から次のアドレスへアクセスし、閲覧ができます。また、画面中の「緊急メール」からメールアドレス（携帯電話）を登録してください。

http://www.anshin-bousai.net/iga/

《トップページ》



*バーコードリーダー機能のついた携帯電話をお持ちの方は、QRコードをご利用ください



QRコード

閲覧できる情報

《災害時緊急情報》

市の防災情報を掲示板で見ることができます。

《避難所情報》

市指定避難所の場所（略図付き）や連絡先のほか、開設状況がわかります。

《休日・夜間診療所情報》

休日や夜間に診療可能な医療機関の情報を見ることができます。

※パソコンでも閲覧できます

災害時緊急メール

- ・避難勧告の発令などの災害時緊急情報
- ・市民の皆さんの安心・安全に関する緊急情報

登録にあたり次の点にご注意ください

- メールアドレスの登録は無料ですが、ニュースメールが発行され着信すると、各携帯電話会社の通常のパケット通信料がかかる場合があります（1メールあたり0～2円程度）
- 携帯電話以外のメールアドレスは登録できません
- 迷惑メール防止機能を設定している場合は、受信できるドメイン、「anshin-bousai.net」を指定してください
- 登録の詳しい方法は、市ホームページ「消防・防災」でご確認ください

問い合わせ

本庁総合危機管理室 ☎22-9640



平成16年12月に、「痴呆」から「認知症」に呼び名が変更されました。この背景には「痴呆」は侮蔑的で、高齢者の尊厳を欠く表現であること、その実態を正確に表していないこと、早期発見・早期診断などの支障になっていること、それらが認知症対策の取り組みへの障害ともなっているなどの現状があったからです。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。日本は世界最長寿命国となり、全国で認知症の症状のある高齢者は約169万人と厚生労働省が推定しています（平成17年）。伊賀市では介護保険の要介護認定を受けた方のうち、約3千人の方に認知症の症状があることがわかっています（平成20年）。認知症の方は今後20年で倍増すると予想されています。近年では高齢者に限らず、若いうちに認知症を発症する「若年性認知症」に対する支援も課題となっています。

明日に向けて

～差別をなくしていくために～

認知症はいろいろな原因で脳の機能が衰えてくる病気で、目の前で起きている状況を判断することができなくなっています。そのために周囲の人が予測できないような言動をすることがあり、誤解され偏見の目で見られること
もありません。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるかわかりません。ですから他人事として無関心でいるのではなく、温かい目で見守り、理解を深めていくことが大切です。
また、認知症になったのではないかと本人の不安は、健康な人の想像を絶するものです。心配なもの、苦しいもの、悲しいのも誰であらう本人自身なのです。
尊厳をもって自分らしく最後までありたい。このことは誰もが望むことです。認知症になったからといってすべてを忘れ、何も出来ないわけでもありません。本人の保たれている能力に目を向け活用できるように支援を行い、あるがままを受け入れ、尊厳ある暮らしを皆で守っていくことが大切ではないでしょうか。
伊賀市地域包括支援センターをはじめとして各種相談機関では、健康や福祉、医療や生活に関する高齢者の皆さんのさまざまな相談・支援を行なっています。困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。
伊賀市地域包括支援センター（本庁北庁舎1階）
☎26・1521 FAX24・7511

「認知症の人の人権を考える」